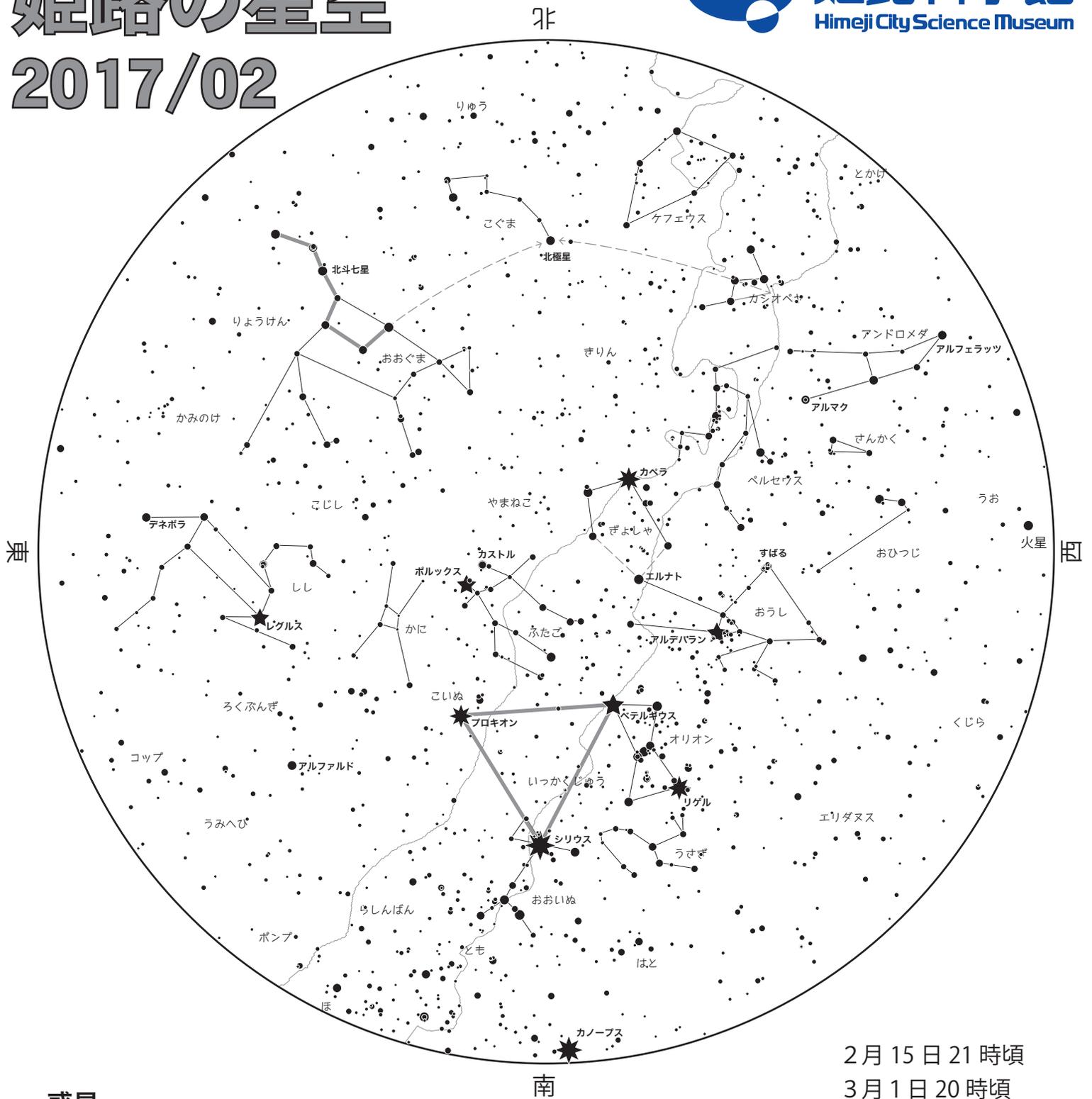


姫路の星空

2017/02



姫路科学館
Himeji City Science Museum



惑星

日没後間もなく西の空に見えるのは金星（宵の明星）です。暗くなる頃には、金星の左上に火星も見えています。金星と火星の間隔は次第に離れていきます。

星座の星

南の空に冬の星座が見えています。オリオン座とそのまわりを囲む星座たちには1等星が散りばめられています。オリオン座の肩の星ベテルギウスを中心に、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、ぎよしゃ座のカペラ、ふたご座のホルックス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスを経てリゲルに戻ると、大きな六角形ができます。

東の空には春の星が見え始めています。しし座のレグルスは一番暗い1等星なので、百獣の王ライオンの星座ながら「小さな王様」と名づけられています。北東の空には北斗七星が見えています。まわりの星をあわせて、おおくまの姿がたどれますか？また、この時期は、北斗七星とカシオペア座の両方が見やすいです。どちらからでも北極星を探せますよ。